

どこにとんでいくのかな

オディロン・ルドン (1840~1916 年)

《『エドガー・ポーに』I. 眼は奇妙な気球のように無限に向かう》

1882 年制作



フランスの画家オディロン・ルドンによる、リトグラフという版画の作品です。

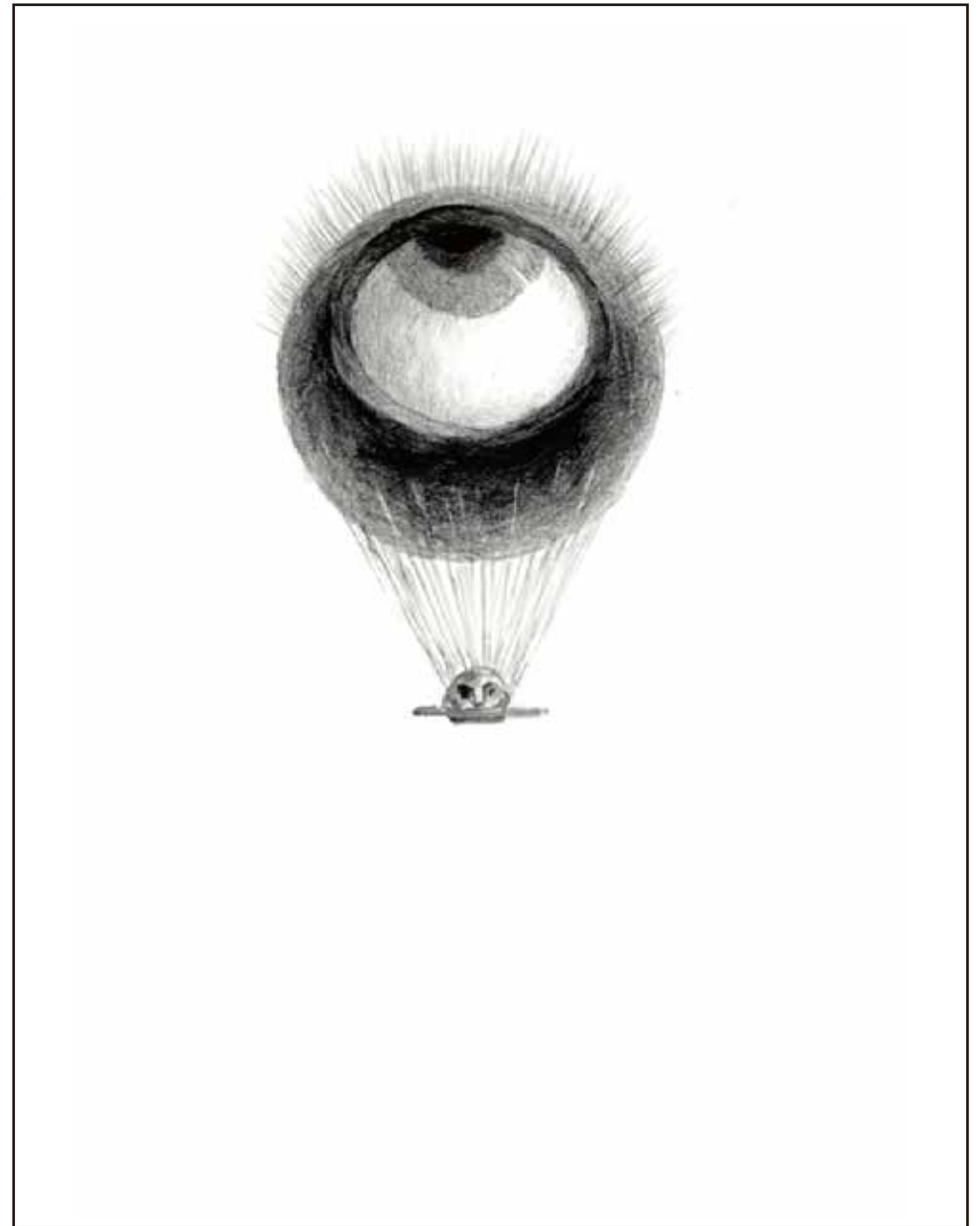
1878 年のパリ万国博覧会のアトラクションになった気球と眼を一体化させ、上方を見つめて浮遊させています。

この気球がどんなところを飛んで、どこへ行くのでしょうか。

モノクロの作品ですが、いろいろな色を使い、想像力をふくらませて、この絵を自分の世界になるように作りあげてみてください。

どこにとんでいくのかな？

どこをとんでどんなところへいくのかをかんがえ、いろいろないろをつかったり、いろいろなものをつけくわえたりしてじぶんなりのえにしあげてみましょう。



なまえ

(さい)